



- ◆ 無袋栽培専用防除暦は裏面にあります。
- ◆ 黒斑病感染防止のため、南水は 6 月中旬までに袋掛けを完了しましょう！

散布日	散布時期	散布薬剤(水100ℓ当り)	使用時期	使用回数(以内)	散布量10a当り(ℓ)	対象病虫害(発生病虫害)	注意事項
月 日	第1回 発芽前 3月下旬	(水 98ℓ) キノドーフロアブル *① 100mℓ スプレーオイル *② 2ℓ	3日前 発芽前	9回 —	300	黒斑病・輪紋病 (ハダニ類) (カイガラムシ類)	① キノドーフロアブルに代えて石灰硫黄合剤 10 倍(発芽前、—)でもよい。 ② キノドーフロアブルにスプレーオイルを加用し、良く攪拌する。
月 日	第2回 発芽 7 日後 4月上旬	(水 96.7ℓ) icボルドー48Q *①、② 3.3kg	開花前	—	300	(黒斑病)・黒星病	① 散布が遅れたり、散布直後に降雨があると薬害が生じることもあるので注意する。 ② 収穫中の作物への飛散に充分注意する。
月 日	第3回 開花始め期 4月下旬	*①、② 展着剤 20mℓ サムコルフロアブル 10 *③ 20mℓ ポリオキシソ水和剤 100g	前日 7日前	3回 5回	350	黒斑病・黒星病 ハマキムシ類 ケムシ類	① 訪花昆虫保護のため使用薬剤を厳守する。 ② 開花期が高温で、アブラムシ類の発生が早い園は、ウララ DF2000 倍(14 日前、2 回)を加用する。 ③ サムコルフロアブルに代えて、ロムダンフロアブル 3000 倍 (7 日前、3 回)でもよい。
月 日	第4回 5月上旬 (前回 10 日後)	*① 展着剤 20mℓ スコア顆粒水和剤 50g モスピラン顆粒水溶剤 25g	14日前 前日	3回 3回	350	黒斑病・輪紋病 アブラムシ類・シンクイムシ類 カイガラムシ類 カメムシ類	① アブラムシ類の発生が早まる場合は、今回の防除を早める。
月 日	第5回 5月中旬 (前回 10 日後)	*① 展着剤 20mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ ハチハチフロアブル 50mℓ	30日前 14日前	5回 2回	350	黒斑病・赤星病・黒星病 アブラムシ類 クワコナカイガラムシ	① アブラムシ類の発生が早まる場合は、今回の防除を早める。
月 日	第6回 5月下旬 (前回 10 日後)	*①、② 展着剤 20mℓ ダズバン DF 33g アントラコール顆粒水和剤 200g	21日前 45日前	3回 4回	350	黒斑病・黒星病・赤星病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① アブラムシ類の発生園はバリアード顆粒水和剤4000 倍(前日、3 回)を加用散布する。 ② 葉色が薄い場合や黄化が見られる園は、ビックマグの 1000 倍を今回から 3 回程度連続して加用散布する。
月 日	第7回 6月上旬 (前回 15 日後)	*①、② 展着剤 20mℓ ロブドー水和剤 125g サイアノックス水和剤 100g	14日前 7日前	5回 3回	400	黒斑病・黒星病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① 袋かけ前の防除とする。 ② カイガラムシ類発生園は、アブロードフロアブル 1000 倍(30 日前、2 回)を加用する。
月 日	第8回 6月下旬 (前回 15 日後)	*① 展着剤 *② 20mℓ ベルコートフロアブル 66mℓ ダズバン DF 33g	14日前 45日前	5回 4回	450	黒斑病・黒星病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ (ハダニ類)	① ハダニ類の発生が心配される場合は、カネマイトフロアブル 1000 倍(前日、1 回)を加用する。 ② 通常展着剤に代えて、固着性展着剤のアピオン E の 1000 倍を使用すると薬液付着効果が高まる。
月 日	第9回 7月上旬 (前回 15 日後)	*①、② 展着剤 20mℓ ナリアWDG 50g スミチオン水和剤40 100g	前日 14日前	3回 6回	450	黒斑病・輪紋病 ナシヒメシンクイ カメムシ類 クワコナカイガラムシ	① ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。 ② 葉やけ防止のために涼しい時間に散布する。
月 日	第10回 7月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 *① 20mℓ ダニサラバフロアブル *② 100mℓ キノドーフロアブル 100mℓ ダズバン DF 33g	前日 3日前 21日前	2回 9回 3回	450	黒斑病・輪紋病 ハダニ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① 通常展着剤に代えて機能性展着剤のササラ 2000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。 ② ダニサラバフロアブルに代えて、スターマイトフロアブル 2000 倍(前日、1 回)でもよい。
月 日	第11回 8月上旬 (前回 15 日後)	展着剤 20mℓ キノドーフロアブル 100mℓ オリオン水和剤40 *① 100g	3日前 3日前	9回 2回	450	黒斑病・輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 カイガラムシ類 (ハダニ類)	① シンクイムシ類(成虫)の多発園は、オリオン水和剤 40 に代えて、バリアード顆粒水和剤 4000 倍(前日、3 回)を使用する。
月 日	第12回 8月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 20mℓ コロマイト乳剤 *① 100mℓ キノドーフロアブル 100mℓ イカズチWDG 66g	前日 3日前 前日	1回 9回 3回	450	黒斑病・輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類 ハダニ類	① ハダニ類(成虫)の発生が多い場合は、コロマイト乳剤を 8 月上旬中旬に繰り上げ散布する。
月 日	第13回 9月上旬 (前回 15 日後)	*① 展着剤 20mℓ キノドーフロアブル *② 100mℓ ダントツ水溶剤 *③ 25g	3日前 前日	9回 3回	450	黒斑病・輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類 コナカイガラムシ類	① 南水・あきづき等の最終散布とする。 ② 果面の汚れが心配される場合はキノドーフロアブルに代えて、ストロビードライフロアブル 2000 倍(前日、3 回)でもよい。 ③ ダントツ水溶剤に代えて、アルバリン顆粒水溶剤 2000 倍(前日、3 回)でもよい。

◆ 安全・安心の農産物生産のために使用基準を厳守しましょう。

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（D F）⇒顆粒水和剤（W D G）⇒水和剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤